

阪田悦子

10月例会 議事録

日時： 令和6年10月3日(木) 13:45~16:15

場所： 川本本店

出席：14名 入交 川本 阪田 阪田 笹嶋 杉田 杉山 鈴木 清野 南野 牧 吉田
秋元副市長 桂議員

- 1 秋元副市長とのタウンミーティングを実施しました。病院の誘致、道路拡張、JR 茨木駅前再開発などの現状を説明していただきました。街 ing からは災害に強い茨木市の実現、テレビ大阪の人気番組「なんでも鑑定団」のおにクル収録などを提案しました。
- 2 10月22日(火)に日本銀行大阪支店を見学します。現地スタッフの解説付き。参加者12名 川本 阪田 阪田悦子 笹嶋 杉田 鈴木 中村 南野 松岡 牧 吉田 吉田洋子 昼食会場は近隣のイタリアンレストラン。9時阪急茨木市駅集合。運転免許証またはマイナンバーカードを持参願います。
- 3 11月26日(火)に神戸市の相楽園周辺を訪ねます。参加者13名 川本 阪田 阪田 笹嶋 杉田 鈴木 清野 中村 南野 長谷川 松岡 牧 吉田 昼食会場は三宮の郷土料理 9時30分阪急茨木市駅集合。
- 4 来年3月に摂津富田の酒蔵清鶴の見学を予定しています。
- 5 安威川ダムフェスティバルの案内 10月26日(土)
- 6 12月の忘年会はなし。1月または2月に新年会を実施。梅田の「うめきた公園」昼食はKITTE 大阪 を候補とする。
- 7 今後の例会実施日 11/7(木) 12/5(木) 1月なし 2月なし
3/6(木) 4月なし 5/8(木)

以上



秋元副市長との懇談会が実現

平成 19 年(17 年前)、地方自治法の改正があり助役制度が見直され、市のNo.2 である助役に代わり、「副市長」を置くことになりました。呼び方が変わるとともに、これまでの市長の補佐、市長代理、事務の監督に加えて政策の管理など市長の権限の一部を執行できるようになりました。No.2 の立場は変わらず、市長の権限を大幅に委託されることになります。

10 月 3 日(木)の例会にはゲストとして茨木市の秋元副市長に来ていただき、茨木市の現状、将来について語っていただきました。入職されたころの茨木市と比べ、現在の茨木市はより市民の意見をきいて政策が進められているとのこと。賑わいのある茨木市、それも幸せや豊かさを共感できる茨木市を目指していきたいとのことでした。

街 ing から、災害に強い茨木市の実現、おにクルの魅力発信、患者目線からみた病院の建設など茨木市の街づくりについて提案をしました。

ご多忙の合間をぬってご出席いただき、ありがとうございました。

これからも街 ing からの提案を期待しています。



有意義な 70 分間でした。秋元副市長のますますのご活躍を願っています。

10月3日(木)懇談会 秋元副市長への質問と回答

文責 阪田 浩

質問 1 阪急茨木市東側跡地の病院誘致の現状はどうなっているのでしょうか。

<回答> 大阪医科大学の誘致は決定している。どのような病院になるのかは未定。時期は令和10年度を目標、あと4年はかかることになる。

質問 2 阪急茨木市東側では駐輪場が少なくなり自転車の収容台数が減少、不便な状態が続いています。元の収容台数に戻す計画はあるのでしょうか。また、病院が建設されたあとの駐輪場所の確保はできているのでしょうか。

<回答> 阪急茨木市東側の駐輪場は現在6か所ある。十分とはいえないとのご指摘があるのは承知している。病院建設とからみ解決策を見つけていきたい。

質問 3 養精中学校前の道路拡張工事の実用化時期はいつごろを見込んでいますか。

<回答> 該当道路は現在拡張工事が行われているが、まだ未買収の箇所が残っている令和9年度の開通を目指している。あと3年程度かかることになる。

質問 4 拡張後の新道路が2車線になり「おにクル前」が歩道専用となれば、新道路の混雑が予想されませんか。

<回答> 歩道専用の区域は市役所本館と南館の西側のみを予定している。業務用スーパー前は引き続き車道として使用するので、混雑は避けられると考えている。

質問 5 永代町8番30号大槻ビルの横にある市営駐車場は2年ほど前から立体駐車場にするための工事が始まりましたが、途中で急に工事がストップしそのままになっています。工事が再開されない事情があるのでしょうか。

<回答> 以前は「シロ」(現在はイオンとして中津町に移転)があった場所である。工事中に汚染物質が見つかり工事がストップしている。再開の見通しはたっていない。早期再開をめざしている。

質問 6 国道 171 号線の西河原西交差点が立体交差になって以降平日の朝晩に府道茨木亀岡線の田中交差点が大渋滞するようになりました。西河原西交差点が立体交差になったために 171 の混雑を避け、田中交差点を右折するコースを抜け道にする車が増えたための渋滞です。極楽湯前の阪急茨木市駅方面に行く道路に赤カラーコーンで部分的に一車線に絞っているために伏見屋方向に右折する車の列が、直進する車まで阻んでしまうので渋滞が大きくなっています。このカラーコーンを外すか、再配置するかして少しでも渋滞を短くしていただけますか。

<回答> このご指摘は茨木警察から大阪府警に上がっており、ゼブラゾーンの縮小の実施を行う予定である。ただ工事自体の日程は未定となっている。

質問 7 「今年 8 月に台風 10 号が接近しました。暴風警報が出された時でも、「おにクル」などは閉鎖されず、職員は出勤しなければなりません。暴風警報が出された時は、市民の安全確保のため公共施設は閉鎖をしたほうがよいのではないのでしょうか。

<回答> 避難所指定場所は暴風警報が出された時でも、職員の出勤は必要と考えている。出勤途上の安全確保については、今後考えていきたい。

質問 8 JR 茨木駅前万博側の整備は進んでいますでしょうか。JR 茨木駅から京都側 100 メートルにある歩道橋も整備していただけますか。

<回答> JR 茨木駅の西側の整備は完了している。東側地区については、関係者と連携しながら合意形成を行っている段階である。京都側 100 メートルにある歩道橋整備については、JR 茨木駅の西側の整備からははずれている区域とはなるとご意見として受け取っておく。

街ing

ダムパークいばきたフェスティバル

「ダムパークいばきた」は令和6年4月にオープンしました。オープン後初めてのフェスティバルが開催されます。JR茨木よりバスで30分程度の近場です。多彩のプログラムに加え大門寺や安威川ダムの見学も計画しています。秋の一日を「いばきた」で満喫しましょう。

10月25日(金)までにお申し込みください。

記

- 1 実施日 : 2024年10月26日(土) 集合は山手台7丁目バス停
阪急茨木市駅西口9時31分発のバスに乗車してください。JR茨木西口着9時41分 山手台7丁目着10時06分 降りたところが集合場所です。 14時頃現地解散の予定
- 2 経路 9時31分 阪急茨木市駅西口発 阪急バスに乗車
9時41分 JR茨木西口着
10時06分 山手台7丁目 着 集合場所
10時30分 ダムパークいばきた着 フェスティバル見学 昼食
12時頃 安威川ダム堤散策
12時30分 大門寺
14時00分頃 山手台7丁目にて解散
- 3 参加費 入場料として100円 現地ではホットドック、ジャガバターポテト、おむすびなどが出店されます。添付のパンフレットを参照ください。不足と思われる場合は事前に昼食をご用意ください。現地にコンビニはありません。
- 4 申し込み このメールにて返信ください。不参加の場合の連絡は不要です。
- 5 その他
 - ① 現地の案内は杉田さんをお願いしています。
 - ② 茨木市～山手台7丁目の交通費460円
 - ③ 荒天の場合は11月2日(土)に変更されます。
 - ④ 欠席される場合は、事前にご連絡願います。
 - ⑤ 連絡先 阪田まで072-627-3480 080-1436-9881

以 上



『和菓子の歴史』

笹嶋節子

厳しい暑さがようやく過ぎ去り、爽やかな秋の涼しさを感じるようになりました。この季節は、ほっと一息つける和菓子が美味しい季節ではないでしょうか。

実は、和菓子は日本の歴史や季節感から生まれた伝統文化であるとともに、それぞれの地域に根ざした食文化を表すものだそうです。和菓子の歴史は縄文時代までさかのぼるとされていて、木の実を粉砕して水でアクを抜き丸めたもの、これが団子の始まりといわれています。その後唐（現在の中国）との交流や茶の湯文化の発展などの影響を受けながら和菓子は進化。多様な素材を取り入れ、製造や加工方法を発展させ高品質で美しい形状の和菓子が生み出されてきたようです。その一方で古くからの団子や餅が根強く好まれているのも和菓子文化ならではの特徴で年中行事にも欠かせなくなり愛され続けているようです。

弥生時代には、米や穀物の粉で餅や団子がつくられて「椿餅（つばきもち）」「青差（あおさし）」という名のお菓子が平安時代の名著『源氏物語』に登場しています。これが美しく加工されたお菓子の始まりだそうです。平安時代までの菓子は朝廷に献上されるためのものでしたが、それが繊細で美しく美的センスを持つ和菓子へと発展したのは日本の伝統文化茶道との関わりで、茶の湯は戦国武将たちの密会や上流階級のサロンとして使われていました。

室町時代には、千利休によって侘び茶が大成し、茶の湯の流行と共に和菓子も発展しました。一般に広まったのは江戸時代中期頃で砂糖の自給率が上がり普及してからで、砂糖をふんだんに使う和菓子も京都を中心に作られ日本独自の菓子文化が各地で発展しました。和菓子の表現も顕著になり、味だけではなく見た目の美しさを追求し、お菓子のデザインモチーフは植物、動物、自然、文様・・・さまざまなものを取り上げ、なかでも植物は多く登場するようです。四季の表現、当時の物語の一場面を菓名で表し洒落を効かせたものも多くあります。絵図帳は四季折々の和菓子を作る図案で日本独特のものだとか、絵図帳は複数あり、現在東京国立博物館にも所蔵されているようです。

ゆったりとした昼下がり、おいしい日本茶と共に味わってみてはいかがでしょうか♪（農林水産省より）





広がる鉄道Q決済

杉田 宗三

関西の鉄道各社は、QRコードやクレジットカードに対応したキャッシュレス乗車サービスの導入を加速させている。第1の目的は増大する訪日客の利便性向上で、他に駅の窓口業務の削減・省力化および改札機のメンテナンス費用削減などの目的もある。これにより、既存の交通系ICカードや長年親しまれた紙のきっぷは消えていく流れとなる。



「スルッとKANSAI協議会」も6月、QRコードの共通乗車券などを販売する新施策「スルッとQRtto（クルット）」を開始した。スルッとクルットのサイトは英語や中国語などにも対応し、訪日客は事前に購入すれば改札などで並ぶ必要もなく、スマホさえあればスムーズに移動ができるので訪日客の取り込みに欠かせないものようだ。

また、クレジットカードを改札にかざすだけで乗車できるタッチ決済導入の動きも広がっている。スマホがなくてもQRコードの対応が進むことになる。

既存の磁気乗車券の改札機は紙のきっぷが内部を通る際に詰まることが多く、そのたびに修理が必要になるなど、維持・管理が極めて高額という問題を抱えているようだ。

ただ、交通系ICカードはそれ1枚あればすべての鉄道に乗れるので便利だが、QRコードには豊富な情報があるため、その活用に各社がしのぎを削り、共通化の道は遠いようだ。

関西の鉄道各社が導入に動き出したQRコード決済は、欧州を中心とした海外では既に常識になっているとのこと。陸続きの欧州では複数の国を通過する列車もあり、QRコードがあれば乗車が可能で便利なためだ。

QRコードはもともと日本のデンソーが開発したもので、航空券では早くから使われているが、日本の鉄道では導入が遅れていた。ただここに来て、首都圏や九州でもQRコードの導入が進んできているので、間もなく全国的に広まることになるだろう。

(ネット情報より)

次回のイベント

街歩き 10月22日(火) 日本銀行大阪支店を見学 阪急茨木市駅9時集合

—— 次回『街ing いばらき』例会のご案内 ——

日 時： 令和6年11月7日(木) 14:00～16:00

場 所： 川本本店 茨木市上泉町6-29

- 議 題： 1. 日本銀行の振り返り
2. 11月26日(火)の神戸相楽園周辺散策
3. 新年会の日程 他

『街ingいばらき』とは？

茨木のまちづくりを考える市民グループです。といってもあまり硬いことではなく、月一回の例会や年5回程度の街歩きを行っています。

参加資格は問いません。入会に関心のある方は、お問い合わせください。

とりあえずのご見学や、イベントの単発参加も歓迎します。

入会金 1,000円 会費 年間2,000円(一か月170円)



« 編集後記 »

- 10月3日から10日まで市役所南館で茨木市美術展が開かれていました。街ing会員の中村さんと吉田洋子さんの作品が展示されていることもあり、見に行ってきました。審査の難関をくぐり抜けただけあって力作・名作が並んでいました。
- その会場に福岡市長と秋元副市長がたまたま鑑賞に来られていました。お二人とも街ingのことを覚えておられ、今後とも、市政に対して要望、提案をしていただきたいとのことでした。ものすごいタイミングに感激しました。こんな偶然もあるんですね。

« 編集・発行 »

阪田 浩 〒567-0881 茨木市上中条一丁目10-22

Tel/Fax 072-627-3480 e-mail: ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

街ing ホームページ : <http://www.machiing-ibaraki.com/>

ホームページは杉田さんが作成されています。ときどきはのぞいてみてください。

2024年10月現在での訪問者は10,330 <前月比20の増加> となっています。

